

第22回 日本亜鉛栄養治療研究会学術集会

腸管免疫とバリア機能 多能性幹細胞と膵β細胞 がんと肝硬変

「亜鉛はなぜ健康に必要なのか？」
「亜鉛欠乏症はどのような病気なのか？」
亜鉛に関わる様々な事象に対して、
基礎と臨床の両側面から理解と解明に挑みます。

日時

令和3年 **8月7日** (土)
12:30-17:30 (予定)

会場

ZOOMによるオンライン開催(参加無料)

プログラム
(予定)

会長推薦講演

竹田 潔 先生 | 大阪大学大学院医学研究科
免疫制御学 教授
腸管免疫系の制御機構

特別講演

●基礎部門

糸 昭苑 先生 | 東京工業大学生命理工学院
教授
多能性幹細胞の維持と膵臓β細胞分化における亜鉛シグナルの関与

●臨床部門

内藤裕二 先生 | 京都府立医科大学大学院医学研究科
生体免疫栄養学講座 教授
亜鉛生物学の新展開——腸管バリア維持機構と下痢

杉本理恵 先生 | 国立病院機構九州がんセンター
消化器・肝胆膵内科 部長
がん、肝硬変と亜鉛の関係

一般演題

募集中(詳細は裏面をご参照ください)

「第22回日本亜鉛栄養治療研究会学術集会」特設サイトを公開中!

https://www.gakkai-kenkyukai.com/210807_zn



一般演題(基礎・臨床)を募集します

第22回学術集会一般演題募集と第5回ポスターセッション開催についてご案内いたします。
基礎研究者、臨床に携わる医療関係者に日頃の亜鉛に関するデータを発表いただき、
議論の機会を増やして、亜鉛の重要性を広く知ってもらうことを目的としています。

募集要項

応募期間：令和3年5月24日(月)～6月18日(金)

応募先：日本亜鉛栄養治療研究会 事務局

提出情報：演題名、発表者名、所属、領域区分(基礎／臨床)、抄録(800字以内)

抄録をご提出いただいた時点でエントリー完了とさせていただきます。

発表形式(口演／ポスター)は審査の上決定し、後日、応募者にお知らせします。

ポスター発表に関する要領

●ポスター提出形式

PowerPointのスライドをポスター1枚のサイズにまとめ、PDF形式にしたファイルをご用意ください。
サイズはA0(84.1×118.9cm)、スライドの枚数は問いません。

●記載内容

ポスターには、発表者名、所属名、演題名、領域区分(基礎／臨床)を必ず記載してください。

●ポスターの提示

第22回学術集会特設サイトにて、参加登録者に公開します。

●奨励賞について

奨励賞に応募する方は、応募時に「奨励賞対象希望」と明示してください。

対象者には、学術集会当日に5分間のプレゼンテーションをしていただきます。

プレゼンテーションで使用するPowerPointスライドをご準備ください。

(詳細は研究会事務局からご連絡します)

●奨励賞の発表について

学術集会終了後の懇親会で、表彰式をおこないます。

第22回学術集会では、コロナウイルス感染症に関する演題も募集しています

現在、全国的にコロナウイルス感染症が蔓延していますが、亜鉛との関連では、味覚障害を合併したり、低亜鉛血症を経験したりすることが報告されています。2021年2月開催の第21回学術集会では、仙台オープン病院の土屋 誉先生と京都薬科大学の安井裕之先生に亜鉛とコロ

ナウイルス感染症についてご発表いただきましたが、第22回学術集会では一般演題として広く募集し、基礎・臨床で議論し、本研究会として提言できればと考えています。一例報告でも結構ですので、奮ってご応募ください。

●第22回日本亜鉛栄養治療研究会学術集会
担当世話人

川口雅功(主)、内藤裕二(副)、根津理一郎(副)

●問い合わせ先

日本亜鉛栄養治療研究会事務局(京都通信社内)

電話：075-211-2340 ファクス：075-231-3561

E-mail：zinc-jznt@kyoto-info.com